



Cisco Emergency Responder の Disaster Recovery System Web インターフェイス

次のトピックでは、Cisco Emergency Responder (Cisco ER) の Disaster Recovery System Administration Web インターフェイスのページのフィールドについて説明します。

- 「Backup Device List」 (P.D-1)
- 「Schedule List」 (P.D-2)
- 「Manual Backup」 (P.D-4)
- 「Backup History および Restore History」 (P.D-5)
- 「Backup Status」 (P.D-6)
- 「Restore Wizard」 (P.D-7)
- 「Restore Status」 (P.D-9)

Backup Device List

[Backup Device List] ページは、[Backup]>[Backup Device] を選択すると表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

説明

[Backup Device List] ページを使用して、バックアップ デバイスの一覧表示、追加、削除を行います。

表 D-1 は [Backup Device List] ページの説明です。

表 D-1 [Backup Device List] ページ

フィールド	説明
Backup Device List	設定済みのバックアップ デバイスを一覧表示し、デバイス名、デバイス タイプ、デバイス パスを表示します。そのデバイスの [Backup Device] ページを表示するには、[Device Name] リンクをクリックします。
[Add New] ボタン	新しいバックアップ デバイスを追加します。[Add] アイコンをクリックすると、[Backup Device] ページが表示されます。[Backup Device] ページについては、表 D-2 を参照してください。

表 D-1 [Backup Device List] ページ (続き)

フィールド	説明
[Select All] ボタンおよびアイコン	一覧表示されているすべてのバックアップ デバイスを選択します。
[Clear All] ボタンおよびアイコン	選択されているすべてのバックアップ デバイスの選択を解除します。
[Delete Selected] ボタンおよびアイコン	選択されているバックアップ デバイスを削除します。

表 D-2 は、新しいバックアップ デバイスの追加に使用する [Backup Device] ページの説明です。

表 D-2 [Backup Device] ページ

フィールド	説明
Backup device name	テキストボックスにデバイス名を入力します (必須)。
Select Destination	バックアップ先を選択するには、[Tape Device] または [Network Directory] オプション ボタンをクリックします (必須)。
Tape Device	プルダウン メニューからテープ デバイスの名前を選択します。
Network Directory	表示されたフィールドに、ネットワーク ディレクトリのサービス名、パス名、ユーザ名、パスワードを入力します。
Number of backups to store on the Network Directory	プルダウン メニューを使用して、バックアップの数を選択します。
[Save] ボタンおよびアイコン	新しいバックアップ デバイスの情報を保存します。
[Back] ボタンおよびアイコン	[Backup Device List] ページに戻ります。

関連項目

- 「バックアップ デバイスの追加」 (P.8-5)

Schedule List

[Schedule List] ページは、[Backup]>[Scheduler] を選択すると表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

説明

[Schedule List] ページを使用して、現在スケジュールされているバックアップの一覧表示、新しいスケジュールの追加、スケジュールの有効および無効化を行います。バックアップは、指定された日時に開始するようにスケジュールでき、1 回だけ実行するか指定された頻度で実行するか、およびバックアップする機能を設定できます。

表 D-3 は [Schedule List] ページの説明です。

表 D-3 [Schedule List] ページ

フィールド	説明
Schedule List	スケジュールされたすべてのバックアップを一覧表示します。スケジュール リスト名、デバイスパス、スケジュールのステータスが表示されます。スケジュールの詳細を表示するには、スケジュール リスト名のリンクをクリックします。 (注) スケジュール バックアップの作成後、スケジュールを有効にする必要があります。それには、[Schedule List] でスケジュールを選択し、[Enable Selected Schedules] ボタンまたはアイコンをクリックします。
[Add New] ボタンまたはアイコン	新しいスケジュールを追加します。[Add] ボタンまたはアイコンをクリックすると、[Scheduler] ページが表示されます。[Scheduler] ページについては、表 D-2 を参照してください。
[Select All] ボタンまたはアイコン	一覧表示されたすべてのスケジュールを選択します。 (注) [Select All] ボタンは、設定されているスケジュールがない場合のみ表示されます。
[Clear All] ボタンまたはアイコン	選択されたすべてのスケジュールの選択を解除します。 (注) [Clear All] ボタンは、設定されているスケジュールがない場合のみ表示されます。
[Delete Selected] ボタンまたはアイコン	選択されたスケジュールを削除します。 (注) [Delete Selected] ボタンは、設定されているスケジュールがない場合のみ表示されます。
[Enable Selected Schedules] ボタンまたはアイコン	選択されたスケジュールを有効にします。 (注) [Enable Selected Schedules] アイコンは、設定されているスケジュールがない場合のみ表示されます。
[Disable Selected Schedules] ボタンまたはアイコン	選択されたスケジュールを無効にします。 (注) [Disable Selected Schedules] ボタンは、設定されているスケジュールがない場合のみ表示されます。

表 D-4 は [Scheduler] ページの説明です。

表 D-4 [Scheduler] ページ

フィールド	説明
Status	[Scheduler] ページのステータスを表示します。
Schedule Name	テキストボックスにスケジュールの名前を入力します。
Select Backup Device	プルダウン メニューからバックアップ デバイスの名前を選択します。
Select Features	バックアップする機能として [CER] を選択します。
Start Backup at	
Date	プルダウン メニューから、バックアップを開始する年月日を入力します。
Time	プルダウン メニューから、バックアップを開始する時間と分を入力します。
Frequency	
Once	1 回のバックアップをスケジュールする場合は、このオプション ボタンをクリックします。
Daily	毎日のバックアップをスケジュールする場合は、このオプション ボタンをクリックします。
Weekly	週単位のバックアップをスケジュールする場合は、このオプション ボタンをクリックします。チェックボックスをオンにして、週単位のバックアップをスケジュールする曜日を指定します。
Monthly	月単位のバックアップをスケジュールする場合は、このオプション ボタンをクリックします。

Manual Backup

表 D-4 [Scheduler] ページ (続き)

フィールド	説明
[Save] ボタンまたはアイコン	バックアップ スケジュール情報を保存します。
[Set Default] ボタンまたはアイコン	入力された情報を、スケジュール バックアップのデフォルトとして保存します。
[Disable Schedule] ボタンまたはアイコン	スケジュールを無効にします。スケジュールが現在無効の場合、このボタンはグレー表示されます。
[Enable Schedule] ボタンまたはアイコン	スケジュールを有効にします。スケジュールが現在有効な場合、このボタンはグレー表示されます。
[Back] ボタンまたはアイコン	[Scheduler List] ページに戻ります。

関連項目

- 「[Backup History および Restore History](#)」 (P.D-5)
- 「[Backup Status](#)」 (P.D-6)
- 「[バックアップ スケジュールの作成と編集](#)」 (P.8-6)
- 「[スケジュールの有効化、無効化、および削除](#)」 (P.8-7)

Manual Backup

[Manual Backup] ページは、[Backup]>[Manual Backup] を選択すると表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

説明

[Manual Backup] ページを使用して、手動バックアップを開始します。



(注)

手動バックアップを開始する前に、クラスタのすべてのサーバが実行され、ネットワークからアクセス可能なことを確認します。実行されていないサーバやネットワークからアクセスできないサーバはバックアップされません。

表 D-5 は [Manual Backup] ページの説明です。

表 D-5 [Manual Backup] ページ

フィールド	説明
Select Backup Device	プルダウン メニューからバックアップ デバイスの名前を選択します。
Select Features	バックアップする機能として [CER] を選択します。
Start Backup ボタンまたはアイコン	手動バックアップを開始します。

表 D-5 [Manual Backup] ページ (続き)

フィールド	説明
[Select All] ボタンまたはアイコン	一覧表示されたすべての機能を選択します。
[Clear All] ボタンまたはアイコン	選択されたすべての機能の選択を解除します。

関連項目

- 「Schedule List」 (P.D-2)
- 「手動バックアップの開始」 (P.8-8)

Backup History および Restore History

[Backup History] ページは、[Backup]>[History] を選択すると表示されます。[Restore History] ページは、[Restore]>[History] を選択すると表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

説明

過去のバックアップに関する情報を表示するには、[Backup History] ページを使用します。過去の復元操作に関する情報を表示するには、[Restore History] ページを使用します。

表 D-6 は [Backup History] ページの説明です。

表 D-6 [Backup History] ページ

フィールド	説明
Backup History information	過去のバックアップに関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Tar ファイル名 • バックアップ デバイス • 完了日 • 結果 • バックアップされた機能
[Refresh] ボタンまたはアイコン	[Backup History] ページの情報を更新します。

表 D-7 は [Restore History] ページの説明です。

表 D-7 [Restore History] ページ

フィールド	説明
Restore History information	過去のバックアップに関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Tar ファイル名 • バックアップ デバイス • 完了日 • 結果 • 復元された機能
[Refresh] ボタンまたはアイコン	[Restore History] ページの情報を更新します。

関連項目

- [「Schedule List」 \(P.D-2\)](#)
- [「Manual Backup」 \(P.D-4\)](#)
- [「Backup Status」 \(P.D-6\)](#)
- [「Restore Wizard」 \(P.D-7\)](#)
- [「Restore Status」 \(P.D-9\)](#)
- [「バックアップ履歴と復元履歴の表示」 \(P.8-13\)](#)

Backup Status

[Backup Status] ページは [Backup]>[Current Status] を選択すると表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

説明

[Backup Status] ページを使用して、現在のバックアップに関するステータス情報を表示します。

表 D-8 は [Backup Status] ページの説明です。

表 D-8 [Backup Status] ページ

フィールド	説明
Status	現在のバックアップのステータス情報を表示します。
Backup Details	現在のバックアップに関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Tar ファイル名 • バックアップ デバイス • オペレーション • 完了率 • 機能 • サーバ • コンポーネント • Status • 結果¹ • 開始時間 • ログ ファイル²
[Refresh] ボタンまたはアイコン	現在のバックアップに関する情報を更新します。
[Cancel Backup] ボタンまたはアイコン	現在のバックアップをキャンセルします。

1. [Result] カラムは、個々のコンポーネントのステージングの結果を示します。[Status] セクションは、全体的なバックアップステータスを示します。
2. ログ ファイルを表示するには、ファイル名をクリックします。

関連項目

- 「[Schedule List](#)」 (P.D-2)
- 「[バックアップステータスのチェック](#)」 (P.8-8)

Restore Wizard

[Restore Wizard] ページは、[Restore]>[Restore Wizard] を選択すると表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

説明

[Restore Wizard] ページを使用して、サーバのバックアップ ファイルまたはクラスタの前サーバの復元を行います。復元ウィザードは 4 つの Web ページで構成されています。

バックアップに使用するバックアップ デバイスを選択するには、[Step1 Restore—Choose Backup Device] ページを使用します。

表 D-9 は、[Step1 Restore—Choose Backup Device] ページの説明です。

表 D-9 [Step1 Restore—Choose Backup Device] ページ

フィールド	説明
Status	復元操作の現在のステータスを示します。
Select Backup Device	プルダウンメニューを使用して、バックアップデバイスを選択します。
[Next] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの次のページに進みます。
[Cancel] ボタンまたはアイコン	復元操作をキャンセルします。

復元するバックアップ tar ファイルを選択するには、[Step2 Restore—Choose the Backup Tar File] ページを使用します。

表 D-10 は、[Step2 Restore—Choose the Backup Tar File] ページの説明です。

表 D-10 [Step2 Restore—Choose the Backup Tar File] ページ

フィールド	説明
Status	復元操作の現在のステータスを示します。
Select Backup File	プルダウンメニューを使用して、バックアップする tar ファイルを選択します。
[Back] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの前のページに戻ります。
[Next] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの次のページに進みます。
[Cancel] ボタンまたはアイコン	復元操作をキャンセルします。

復元する機能を選択するには、[Step3 Restore—Select the Type of Restore] ページを使用します。

表 D-11 は、[Step3 Restore—Select the Type of Restore] ページの説明です。

表 D-11 [Step3 Restore—Select the Type of Restore] ページ

フィールド	説明
Status	復元操作の現在のステータスを示します。
Select Features	バックアップする CER 機能を選択するには、CER 機能名の左側にあるボックスをクリックします。
[Back] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの前のページに戻ります。
[Next] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの次のページに進みます。
[Cancel] ボタンまたはアイコン	復元操作をキャンセルします。

復元するサーバを選択するには、[Step4 Restore—Final Warning for Restore] ページを使用します。

表 D-12 は、[Step4 Restore—Final Warning for Restore] ページの説明です。

表 D-12 [Step4 Restore—Final Warning for Restore] ページ

フィールド	説明
Status	復元操作の現在のステータスを示します。
Warning	復元操作によって、選択されたサーバにある既存のデータすべてが上書きされることを伝える警告メッセージが表示されます。
Select the Servers to be restored for each Feature	CER 機能名の下で、復元するサーバを選択します。それには、サーバ名の左側にあるチェックボックスをオンにします。
[Back] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの前のページに戻ります。
[Restore] ボタンまたはアイコン	復元操作を開始します。[Restore] をクリックする前に、復元するサーバを選択する必要があります。復元するパブリッシュまたはサブスクリイバを選択できます。両方を選択することはできません。  注意 復元操作により、選択されたサーバにある既存データは上書きされます。
[Cancel] ボタンまたはアイコン	復元操作をキャンセルします。

関連項目

- 「Backup History および Restore History」 (P.D-5)
- 「Restore Status」 (P.D-9)
- 「バックアップ ファイルの復元」 (P.8-8)
- 「サーバ グループの復元」 (P.8-10)

Restore Status

[Restore Status] ページは、[Restore]>[Status] を選択すると表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

説明

[Restore Status] ページを使用して、復元操作のステータスを表示します。

表 D-13 は [Restore Status] ページの説明です。

表 D-13 [Restore Status] ページ

フィールド	説明
Status	現在の復元操作のステータスに関する情報を表示します。
Restore Details	現在の復元操作に関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Tar ファイル名 • バックアップ デバイス • オペレーション • 完了率 • 機能 • サーバ • コンポーネント • Status • 結果¹ • 開始時間 • ログ ファイル²
[Refresh] ボタンまたはアイコン	現在の復元操作に関する情報を更新します。

1. [Result] カラムは、個々のコンポーネントのステージングの結果を示します。[Status] セクションは、全体的な復元ステータスを示します。
2. ログ ファイルを表示するには、ファイル名をクリックします。

関連項目

- 「Restore Wizard」 (P.D-7)
- 「Backup History および Restore History」 (P.D-5)
- 「復元ステータスの表示」 (P.8-13)
- 「バックアップ履歴と復元履歴の表示」 (P.8-13)